少年メルダー隊通信

SHONEN MELDÖR TAI TSUSHIN

第57号
2018年
11月16日発行

とまどう貴之

クイーン・オクトパスよ あなたはおれの母なのか…？

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

ついにクイーン・オクトパスと戦いの時が来た！

だが、クイーンとの戦いを前にしてひとつの問題が発生した…それは一体何なのか。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

キュピール海底軍団による「Q作戦」の実行を阻止すべく、キュピール海底神殿に乗り込んだ超音戦士メルダーのふたり。前回の少年メルダー隊通信でも伝えたとおり、海底神殿ではクイーン・オクトパスが儀式を行っており、12体のキュピール怪人が、超音戦士メルダーを待ち構えていたのだった。

「超音戦士メルダーを海底神殿から一歩も出すな…！」

そうクイーン・オクトパスが命令すると、怪人たちはいっせいに超音戦士メルダーに襲いかかる。またクイーン自身も、超音戦士メルダーに戦いをいどんで来た。

しかし、超音戦士メルダーはクイーンに手が出せない…！

何故ならクイーン・オクトパスは貴之の母である可能性があるからだ。

これまでの戦いにおいて、クイーン・オクトパスは貴之や友美の前にその姿を現していたが、その姿を見るたび、貴之は自分の死んだ母に似ていると感じ【もしかするとクイーン・オクトパスは自分の母親なのでは…】と考えるようになっていた…。

貴之のその考えに対し、友美は信じられないといった様子だったが、貴之がクイーンに接近した際にとあるものを見つけた。母が身につけていたはずのペンダントがクイーンの胸元にあったのだ。

そのペンダントは、母の形見として保管していたがいつの間にかなくなっており、貴之がひそかに探し続けていたものだったのだ。

また、そのペンダントは貴之の父・仲倉博士が母のためにつくったペンダントなのだ。バイオリニストであった母をイメージして、バイオリンがあしらわれており、二つと同じものはないと聴いていた。

←在りし日の仲倉博士と貴之の母。

そのペンダントをクイーンがつけていた！　貴之にとって、クイーンが母親だと思うようになった出来事であった。

だがしかし、貴之の母は病死しており、貴之の目の前で息を引き取っていることは、紛れもない真実なのである。

もしかすると、貴之の母はキュピールの手によって生き還ったのでは…。

←病床の貴之の母。

条件が揃えば永遠の生命をあたえることのできるデモンズシードの研究を続けていたキュピールならば、ふつうでは考えられないようなことが起こりうるのかもしれない。

だが、相手が仮に貴之の母だったとしても今は敵だ。しかも地球の未来を脅かす超音戦士メルダーの最大の敵である。

クイーン・オクトパスは果たして何者なのか？本当に貴之の母なのか？そして超音戦士メルダーはクイーン・オクトパスと戦えるのか…？

地球の危機は刻一刻と迫っている。

負けるな！超音戦士メルダー。みんなの想いを、勇気を、超音戦士メルダーに届けて欲しい！最後まで一緒に戦おう！

おたより おくってね

きみのキュピールもくげき情報や、
パトロールほうこくなどを
送ってね。
送ってくれたおたよりが
超音戦士メルダーの力になるぞ！
超音戦士メルダーへの質問なども
おまちしています。

少年メルダー隊通信は毎月１６日発行です！みんなよろしくね！